

定期的な点検と整備で トラブルを未然に防止!!

日々ダメージを受けている駆動部・可動部・作動油

- ・ミキサー車は、毎日の生コンクリート攪拌輸送により高い負荷が掛っております。
 - ・油圧機器には高い圧力の作動油が流れ、また駆動部には高荷重が常に掛けております。
 - ・作動油・ギヤオイルは日々、劣化が進み精密部品・減速機等の焼付き・摩耗等の原因につながります。
 - ・劣化した作動油・油圧ホースを使い続けたり、適切なグリスアップを怠ると生コンクリート運搬業務に支障が出るばかりか、生コンクリート排出不能等の重大な故障に至るケースもあります。
- 日常点検と定期点検整備でトラブルを未然に防止する事ができます。



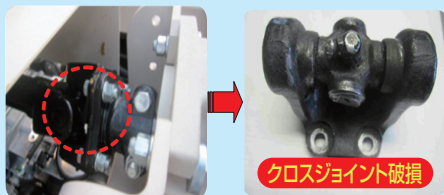
こんな事
になる



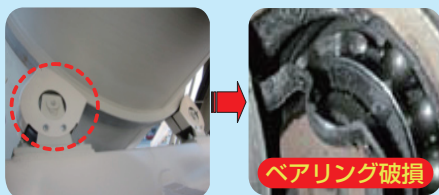
年次点検時には必ず
作動油・フィルタ・
ギヤオイルを交換
しましょう!!

作動油・グリスアップ等のメンテナンスを怠ると!

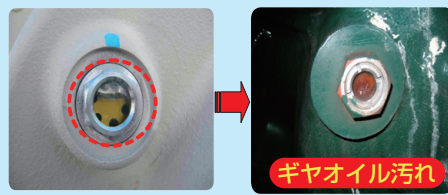
ポンプ駆動ドライブシャフト



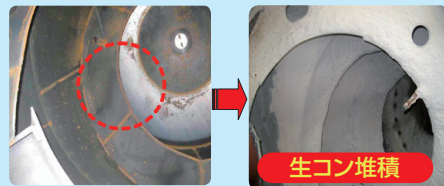
ドラムガイドローラ



減速機ギヤオイル



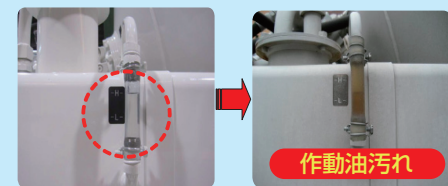
ドラム内ブレード



ドラム駆動減速機

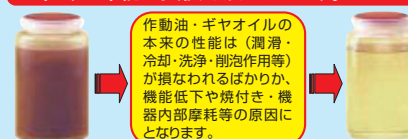


オイルタンク・作動油



- ★劣化した作動油・ギヤオイルを使い続けると、精密部品であるプランジャーポンプ・油圧モータ・駆動減速機等の破損のトラブルに発展いたします。
- ★劣化した油圧ホースを使い続けると破損の原因となります。
- ★グリスアップを怠ると各駆動部（ガイドローラ等）のベアリング摩耗・破損の原因となります。
- ★ドラム内の生コンクリート付着、清掃を怠ると排出・攪拌性能を悪化させ、更にブレード等の腐食を早める原因になります。（生コンクリートの品質に影響を与える）

★作動油・ギヤオイルは汚れていませんか？
直ぐに確認し交換を致しましょう!!



汚れた作動油



新しい作動油

正しいメンテナンスで機械も体も健康体

オイル・フィルタの『定期交換』なぜ必要か!!

『作動油・ギヤオイル・フィルタ』の交換を怠ると

- ★高い圧力で流れる作動油・ギヤオイルは温度変化が著しく化学変化を起こし添加剤の消耗・酸化等により劣化が進みスラッジが形成されます。
また作動機構からの侵入した水分や鉄粉等により劣化した作動油・ギヤオイルは潤滑効果がなくなり精密機器・部品であるポンプ・モータ・減速機等の破損などのトラブルに発展いたします。
- ★オイルフィルタは作動機構・油圧回内部等で発生した金属粉やスラッジを除去する働きをしています。
フィルタが目詰まりすると、ろ過機能を失い作動油の潤滑能力が低下し油圧機器部の摩耗を促進し焼付・機能低下等のさまざまなトラブルの要因となります。



- ※1 交換時期は、特装車により異なります。各架装メーカーの推奨時期により交換して下さい。
- ※2 お客様のご使用状況により、交換時期が早まる場合があります。
- ※3 定期交換は、専門的な技術と設備のある各メーカー指定のサービス工場でお受け致します。

こんなに大切な作動油フィルタの働き

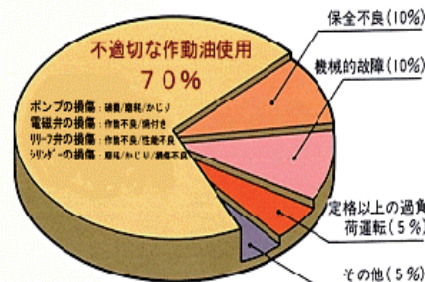
作動油フィルタは、ゴミやホコリの進入を防ぎ、油圧回路内で発生した金属粉やスラッジを除去する働きをしています。フィルタが目詰まりして、ろ過機能を失うと、作動油の潤滑能力が低下するため、油圧機器の摩耗を促進して焼付や損傷の原因となり、効率をダウンさせるばかりでなく、さまざまなトラブルの原因にもなります。

定期交換のメリット

- * 安心感を持って作業ができます。
- * 故障、修理による稼働率の低下を防ぎます。
- * 不要な修理費の削減を図れます。
- * 特装車の性能を維持する事ができます。



●油圧機械故障の原因 (USA著名ポンプメーカー調べ)



『グリスアップ』は、なぜ必要か!!

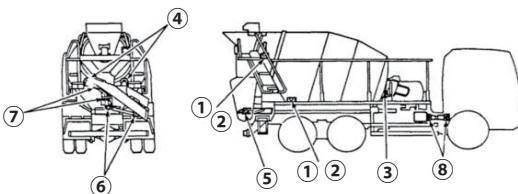
『グリスアップ』を怠ると

- ★可動面に油膜が無くなり摩擦抵抗が高くなります。その為、可動面に傷が生じます。
特に荷重が掛る部分では固着 (カジリ) 現象が生じ最悪の場合は装置が動かず破損する事もあります。
- ★可動面に油分 (油膜) が無くなり、空気や水を遮断できず錆が発生し固着の原因となります。

保守点検項目と各部給脂箇所 (参考)

●給脂説明図 (参考例: 取扱説明書より)

図示された矢印のグリスニップル部には必ず給脂を行って下さい。



点検整備項目	日常点検	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月	24ヶ月	備考
①コントロールリンクage		○					シャングリースまたはマシン油 # 120
②コントロールリンクage		○					T
③ギヤカップリング					○		MOS2入りグリス
④ガイドローラ					○		EPグリス
⑤シュートキャッチ装置		○					シャングリース
⑥シュートアジャスタ		○					T
⑦シュート駆動輪		○					T
⑧ドライブシャフト		○					MOS2入りグリス

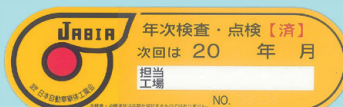
点検箇所	点検内容	点検時期	不具合時の処置	給油・給脂時期
ドラムローラ	異音・異臭・ガタ・異振等の有無	●	修正または交換	1ヶ月に1回給油
ドラムリング	生コン付着の有無	●	修正または交換	
ドラム内部	生コン付着の有無	●	除去	
シュート回転部	異音	●		定期給油
リフト・ドラム・ドラム	ゆるみの有無	●		
ミキサーフレーム	亀裂・腐食の有無	●		
ステップ	ボルト・ナットのゆるみ	●		
フェンダ				
サイドガード				
減速機	油の量・油質の劣化	6ヶ月毎	油の補給	初回は10000km走行または1ヶ月のどちらか早い時期。2回目以降は40000km走行または2年毎のどちらか早い時期に交換
駆動関係	油の汚れ	6ヶ月毎	油の交換	
	エアリークの有無		エアリーク交換	
ドライブシャフト・ドラム・ドラム	ゆるみの有無	●	修正または交換	1ヶ月に1回給油
タイヤ・ホイール	ガタの有無	●		
カクシス・スプリング	異音	●	修正または交換	1ヶ月に1回給油
作動油	状況	3ヶ月毎		20000km走行または1ヶ月のどちらか早い時期に交換
オイルタンク・ストレーナ	汚れの有無、油の量	●	洗浄・補正・油の補給	
オイルフィルタ	汚れの有無	3ヶ月毎	交換	20000km走行または1ヶ月のどちらか早い時期に交換
オイルタンク・ストレーナ	汚れの有無	●	洗浄・補正・油の補給	
ポンプ・モータ・バルブ	油の量・油質の劣化	●	油の交換	
配管・ゴムホース・継手	油の量・油質の劣化	●	修正または交換	
ブレーキ	異音	●	交換	
配管・ホース	水もれの有無	●	パナド補修または交換	
水ポンプ	水もれの有無	●	修正または交換	
配管・コネクタ	水もれの有無	●	交換または補修	

グリスはメーカー推奨品を使用してください!



※給脂箇所は各メーカーの取扱説明書を参照願います。

*イミテーション部品を使用することは性能が保証されないばかりか、故障の原因にもなります。
必ずメーカー指定の純正部品を、ご使用ください。



年次検査・点検時には必ず作動油・フィルタの定期交換をしましょう。

*点検整備・部品交換は専門的な技術と設備のある各メーカー指定サービス工場でお受けいたします。